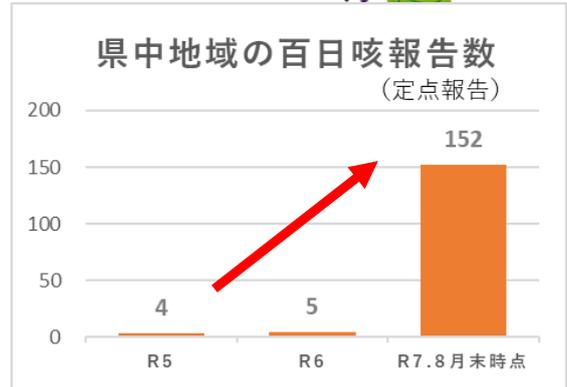


百日咳の流行が続いています

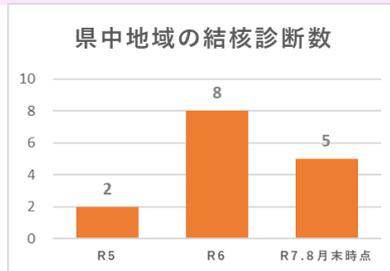


- 全国的に過去最多を大きく上回るペースで流行していますが、
県中地域においても10代以下を中心に感染が続いています。
学校や職場等での集団発生に注意が必要です。
 潜伏期間：7～10日間
 症 状：かぜ症状で始まり、けいれん性の激しい咳発作が起こる
 感染経路：飛沫感染（咳やくしゃみ）
 接触感染（菌が付着して間もない手や物を介する）
 出席停止：特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで（学校保健安全法）
 感染対策：基本的な感染対策が有効。特に、乳幼児は重症化のおそれがあるため、予防には5種混合ワクチンの定期予防接種が有効。



9月24日～30日は 結核・呼吸器感染症予防週間です

**結核は
過去の病気では
ありません**



- 県中地域の医療機関では、毎年、結核が診断されています。
 症 状：長引く咳や痰、微熱や倦怠感、体重減少、寝汗など
 また、感染していても症状がない（発病していない）
 段階で見つかることもある
 治 療：6～9か月間、毎日きちんと薬を飲めば治すことができる
 感染経路：空気感染（咳やくしゃみが蒸発して、結核菌が空気中をただよう）
 感染対策：基本的な感染対策が有効。特に、乳幼児は重症化のおそれがあるため、BCGの定期予防接種が有効。
- 早期発見・早期治療が重要です。
毎年、必ず健康診断で胸部レントゲン検査を受けましょう。
- また、2週間以上かぜのような症状が続く場合は、**放置せずに受診することが大切です。**

もういいかい?
まーだだよ

忘れず履めず、終息へ
結核には
まだまだ対策が必要です

かからない・ひろげない
呼吸器感染症
毎日・毎年の予防を続けよう

【予防策】
結核：100万人以上
呼吸器感染症：2200万人

結核・呼吸器感染症予防週間
9.24～9.30

ATA 結核予防会

詳しい情報は、こちらを
参照してください



【結核予防会】パンフレット

感染症は早期発見することで、大切なご家族や友人へうつすことも防げます。

結核をはじめとする呼吸器感染症は空気を通してひろがるため、大流行を起こしやすい病気です。
 感染症に関心を持ち、正しい知識を身につけ、感染予防に役立てましょう。

基本的な感染対策をお願いします

